

### ～地球上の命の源である水で、活動をつなぐ～

工場で使用する水の源流(山)～下流(海)の保全に取り組む



### ■生物多様性に関する主な活動

**里山づくり**  
 2019年度に木曽川上流に位置する岐阜県美濃加茂市の山林を借り下草刈り、間伐することで豊かな里山づくりを推進しています。



岐阜県 樹守の里での保全作業

保全整備参加者

**工場内のビオトープづくり**  
 2018年度に造成が完了した平和町工場のビオトープの生物調査を実施し愛知県生態系モニタリング指標種である5テーマ、5種類が確認でき徐々に生き物が定着し始めています。



平和町工場での生物調査

生物調査参加者

### 順法／異常・苦情ゼロ活動

法令遵守はもちろん、環境異常・苦情を発生させないために、専門部署による定期的な環境点検を行い、維持管理に努めています。また、リスク対策として、環境保全ワーキンググループを開催するなど未然防止活動を行って

ます。さらに他社で発生した不具合事例を解析し、国内外グループ会社を含め同類設備の点検などを行い、未然防止につなげています。2021年度は、環境異常の発生はゼロ件でした。

### PCB含有機器の適正処分と保管

有害で難分解性のPCB(ポリ塩化ビフェニル)廃棄物は、2027年3月末までに処理することが法律で定められています。当社では2006年度からPCB含有機器の社外委託処理を進めています。2021年度までに896台の処理を完了しました。未処理の低濃度PCB廃棄物も、早期に処理を進めていきます。完了するまでの間は、流出や土壌汚染がな

いよう、PCB特別措置法に基づく適正な保管管理を行っています。

| 区分                                  | 種類                | 処理台数 | 処理重量  |
|-------------------------------------|-------------------|------|-------|
| 高濃度PCB廃棄物<br>(PCB濃度:5,000mg/kg超)    | 安定器・<br>電力コンデンサなど | 802台 | 6.9t  |
| 低濃度PCB廃棄物<br>(PCB濃度:0.5~5,000mg/kg) | 変圧器・<br>電力コンデンサなど | 94台  | 80.3t |

### 土壌・地下水の保全

過去に洗浄剤で使用していたトリクロロエチレンなどの有害物質による地下水汚染の監視と浄化に取り組んでいます。また、観測井戸を各工場に設置し、有害物質や油脂類による土壌・地下水の汚染がないことを定期的に確認しています。

| 事業所  | 対象  | 対策状況  |
|------|-----|---|
| 春日工場 | 地下水 | 浄化中<br>(敷地外からの汚染の可能性もあるが積極的に浄化)   |
| 稲沢工場 | 地下水 | 過去、使用実績のない物質が検出されたことから、測定結果のみ定期的に行政へ報告<br>※2010年以降は、基準未滿(2012年度で行政報告終了) |